

## No13-143 第3回学生アカデミー 施設見学会（報告）

開催日 2013年12月9日（月）13：30～

会場 （独）労働安全衛生総合研究所清瀬地区

参加者 学生員4名、一般学生10名 計14名

### 実施結果

#### 1) 部門長あいさつ

学生アカデミーの趣旨や今回、労働安全衛生総合研究所の見学を企画した理由などについての説明とともに、今後、社会に役立つものづくり（例えば無人運転の自動車や介護ロボットなど）をするためには安全が不可欠であること、安全には世界に通用する定石があること、エンジニアのプロになるためにはこの定石を知らなければならないことなどを交えながら挨拶（代読）があった。

#### 2) 研究所の概要説明

労働災害防止のための研究を行う研究所であること、悲惨な災害現場に赴いて調査を行っていること、その成果は労働安全衛生規則の改正などを通じて現場の災害防止に活かされることについて研究所の研究員から説明があった。

#### 3) 爆発災害について

プラントの配管に水素が溜まって爆発（爆轟）した災害事例の説明があった。その後、実際に、水素による爆轟実験の様子が紹介された。

#### 4) 金属材料の破壊について

ワイヤロープの試験の様子を見学した。ワイヤロープの劣化は表面からでは分かり難いケースがあることなどについて、実物を見せながら説明があった。

#### 5) 機械災害防止について

機械災害が発生しやすい作業の1つにメンテナンス作業があるが、その保護方策であるロックアウトや3ポジションイネーブルスイッチなどについてデモ装置を用いて説明があった。さらに、RFIDタグを用いたメンテナンス作業の支援装置について説明があった。

#### 6) 質疑応答

予定時間を大幅に超える活発な質疑があった。

### 感想

実務経験がない学生に、産業事故（労働災害）の話は難しいと思っていたが、たいへん活発な質疑があり、「エンジニアに安全は必須（スタンダード）であること」が学生にも浸透してきていることを実感した。



研究员から装置の説明を聞く



いっぱい質問ができました